

# 第61期報告書

2018年4月1日 ▶ 2019年3月31日

スマート社会のその先へ  
真空技術で支える豊かな未来



株式会社 昭和真空

(証券コード：6384)

## 経営理念

- ① 我々の存在が「世の中を豊かにする」ためにお役に立つこと。
- ② 仕事に本気で取り組み「物を創造する喜びとプライド」を得ること。
- ③ 仕事を通して「人間的に成長する」こと。

## 決算ダイジェスト

売上高

9,943百万円

営業利益

1,021百万円

経常利益

1,052百万円

親会社株主に帰属する  
当期純利益

702百万円

### 決算のポイント

- ① 市場ごとに電子デバイス需要に濃淡が見られ、デバイスメーカーの増産設備投資は慎重な姿勢
- ② デバイスメーカーの次世代製品開発への取り組みは継続
- ③ 客先納期変更等により一部案件で売上計上時期の延期が発生
- ④ 次世代電子部品向け依頼実験対応、装置開発に注力
- ⑤ 既存技術応用分野、新規市場開拓に一定の成果

## 次期の見通し

売上高

11,000百万円

営業利益

1,055百万円

経常利益

1,057百万円

親会社株主に帰属する  
当期純利益

734百万円

### 今後の取り組み

- ① 水晶デバイス向け次期主力装置の開発
- ② 光学分野向け戦略装置の開発
- ③ 顧客との共同開発の実施と成果の実現
- ④ 技術力・研究開発力の強化
- ⑤ 品質管理体制の強化

## 既存技術応用分野、 新規市場開拓に一定の成果。 真空装置の技術革新に 積極的に取り組んでまいります。

代表取締役執行役員社長

小俣邦正



株主の皆様には、平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当連結会計年度における世界経済は、米国で雇用情勢の改善や堅調な企業収益を背景に着実な景気回復が続きましたが、アジアでは中国において米中貿易摩擦の影響や投資減少などにより景気の減速感が強まりました。欧州でも製造業を中心に企業業績の悪化により減速傾向となるなど、全体としては先行き不透明な状況で推移しました。国内経済は、企業収益の改善が進んだものの相次いだ自然災害の発生や、米中貿易摩擦の影響など世界経済の回復力が弱まっていることから輸出・生産が弱含んでおり、景気は横ばいで推移しました。

当社グループを取り巻く経営環境を見ると、電子デバイスメーカー各社の製品開発への取り組み姿勢は継続しましたが、電装化が進展するカーエレクトロニクス関連市場向けの電子部品需要が堅調に推移する一方で、スマートフォン関連市場向けの電子部品需要は弱含みで推移しました。これに伴い増産設備投資も市場ごとに濃淡が出てきました。

こうした環境の中、当社グループでは好調な市場を捉え、既存分野への深掘りによる拡販を推進するとともに、既存技術応用分野や新規市場の開拓に努めました。また、次世代製品に向けた電子デバイスメーカーからのサンプル成膜や技術開発にも意欲的に取り組むことで事業の拡大を図りました。

生産面では、受注予定案件を考慮した生産体制を整え効率的な生産に努めました。また、メンテナンス性改善や社内検査の強化により、工程ごとの品質作りこみを徹底す

ることで装置納入初期不具合の発生抑制に取り組みました。

損益面では、個別原価管理の強化により案件ごとの利益率改善を図るとともに、部品の共通化によるコスト削減や追加原価発生抑制に取り組みました。

この結果、当連結会計年度の業績は、受注高は108億49百万円（前年同期比8.7%減）、売上高は99億43百万円（同15.9%減）となりました。

損益につきましては、経常利益10億52百万円（前年同期比42.5%減）、親会社株主に帰属する当期純利益7億2百万円（同54.3%減）となりました。

今後の見通しにつきましては、中国における過剰債務問題や米中貿易摩擦や英国の合意なきEU離脱など、世界経済の先行き不透明感は引き続き高いものと見込まれます。

当社グループを取り巻く事業環境を見ると、第5世代移動通信システムの本格的なサービス提供が目前に迫る中、スマートフォンの高機能化や電装化が進むカーエレクトロニクスといった市場が電子デバイスメーカーを牽引するものと予想しています。電子デバイスメーカーでは、次世代製品向けの電子部品開発がさらに加速するとともに一部には量産化の動きも始まるものと期待しています。

当社グループといたしましても、新しい成膜ソフトやそれらを内在した真空装置の技術革新に積極的に取り組み、さらなる成長のために市場への展開を図ってまいります。また、既存技術応用分野の開拓の継続や製品基本性能の信頼性向上とアフターサービスの充実にも努めてまいります。

# キーテクノロジーは『真空技術』

**カメラモジュール**

- 反射防止膜
- ジャイロセンサー  
手ぶれを補正

**タッチパネル**

- 反射防止膜  
光の反射や映り込みを防ぐ
- 透明導電膜  
透明で電気を通す薄膜
- 水晶振動子

**無線通信モジュール**

- SAWフィルタ  
飛び交っている電波の中から  
使いたい周波数だけを通す
- TCXO(温度補償水晶発振器)  
- 温度補償回路により、温度による周波数変化を少なくする  
- 無線回路やGPS回路に使われる

**クロックモジュール**

- 音叉振動子  
主に時計用の周波数をカバー

**GPS (位置検出)**

- TCXO

**ベースバンド部**

- 水晶振動子  
音声をデジタル信号に変換

**製品外装**

- 装飾ミラー膜
- 電磁シールド膜  
電磁波を遮蔽



真空技術は、スマートフォンに代表される高性能携帯端末、液晶ディスプレイ、光ディスク、太陽電池、自動車(カーエレクトロニクス)、医療機器など、実にさまざまな最終商品を生産するうえで必要不可欠な技術です。しかしながら、真空技術で最終商品を直接製造しているわけではありません。例えば、スマートフォンには根幹部品として温度補償水晶発振器(TCXO)や水晶振動子などが組み込まれていますが、これら水晶デバイスの電極形成工程や周波数調整工程などで昭和真空の真空技術を応用した装置が使用されているのです。その他にカメラレンズや自動車のリフレクター、LEDなどを製造する際にも真空技術応用装置が使用されています。

昭和真空のキーテクノロジーである『真空技術』は、多くの産業そして商品を支える基盤技術なのです。

Topics

## 新開発棟建設 — 技術開発力強化を目指して —

『顧客との共同開発実施等への対応力強化・環境整備』ならびに『生産現場に点在する開発・実験設備の集約による生産スペースの確保』を目的として、既存の開発棟に隣接する場所に開発棟を建設します。

当社の主要取引先である電子部品、光学部品メーカーは、人工知能、ビッグデータといった技術革新が新しく便利な世の中を創造していくなか、次世代製品の開発にしのぎを削っています。当社に対するサンプル成膜の依頼や共同開発の要請が今後も増加し、内容も高度化することが見込まれます。新開発棟が加わることにより、顧客からの要請に適時に対応できる環境が整います。

新開発棟建設により、技術開発力の強化を推進し、事業のさらなる拡大につなげてまいります。



新開発棟



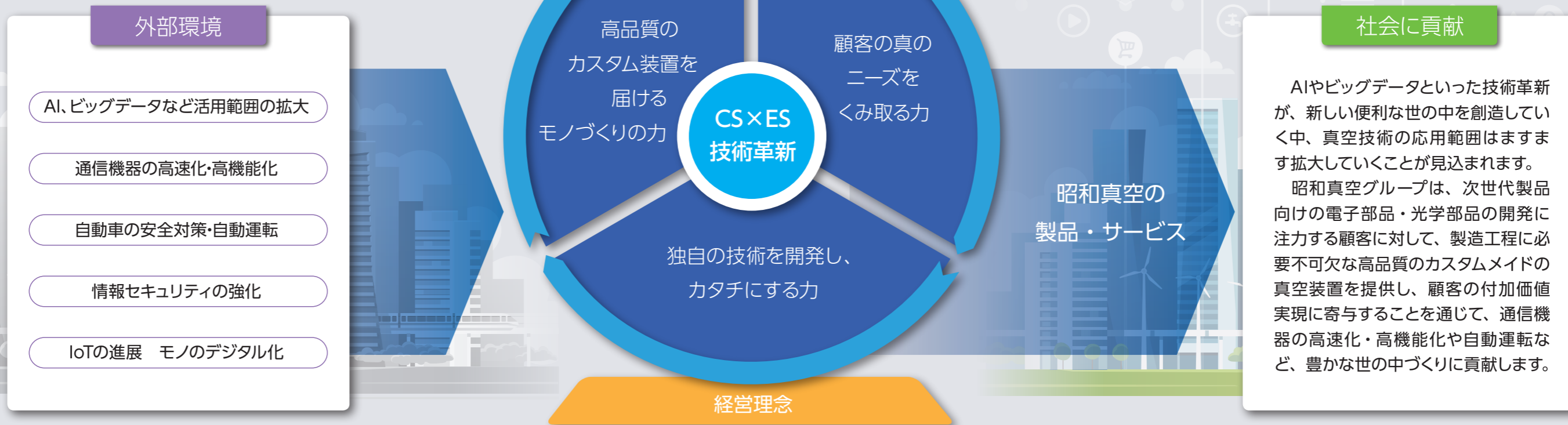
相模原工場全体図



# 世の中に必要とされる企業であり続けるために

経営理念を大切にし、昭和真空らしさを追求します。

常に化する経営環境の下で、経営理念を共有する昭和真空グループの社員が、お互いを信頼し、助け合い、総合力を発揮することを通じて技術革新を実現し、新たな価値を創造することで豊かな世の中づくりに貢献します。

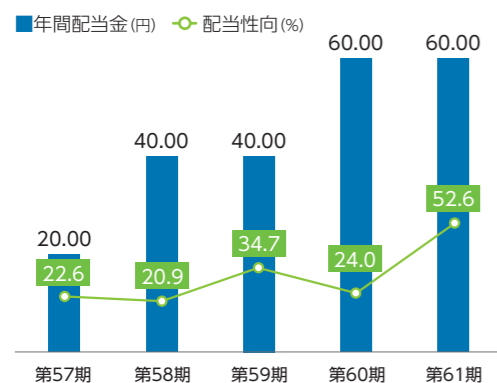


CS:顧客満足 ES:従業員満足

## 利益分配に関する基本方針

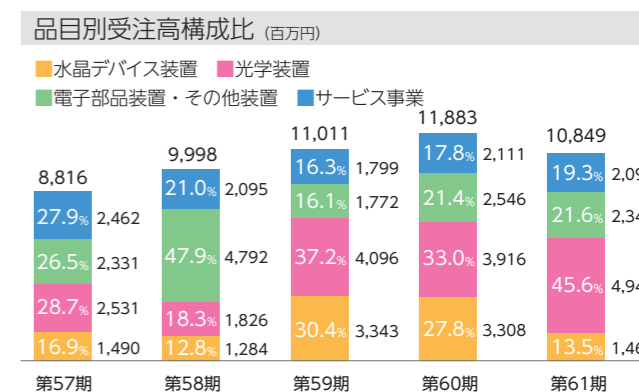
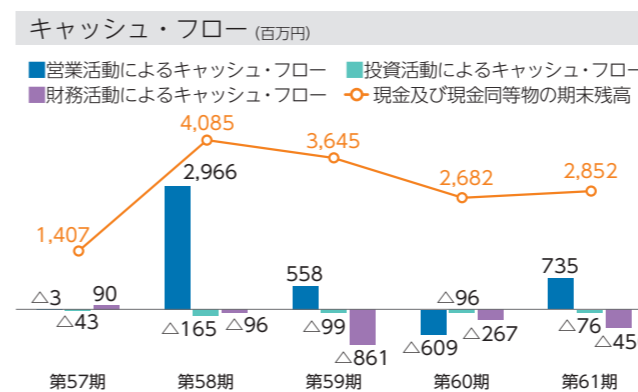
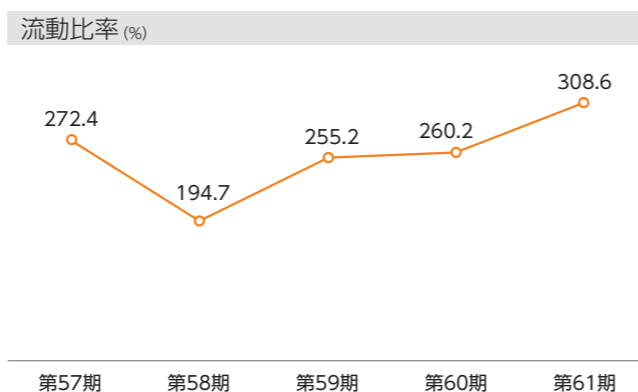
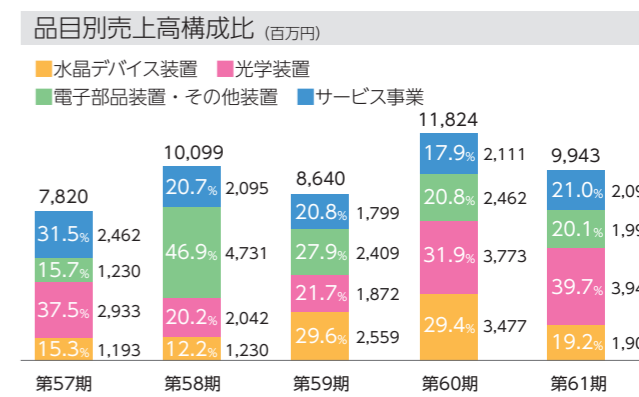
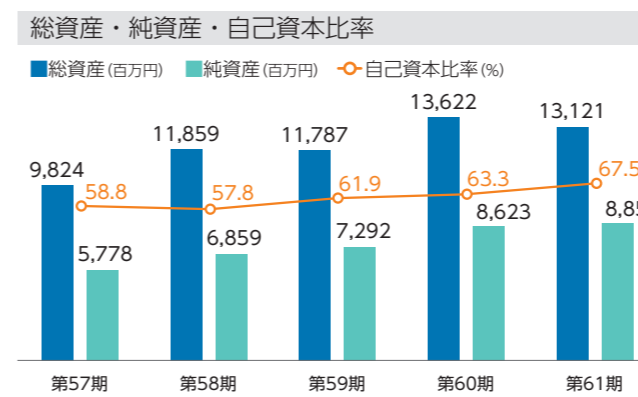
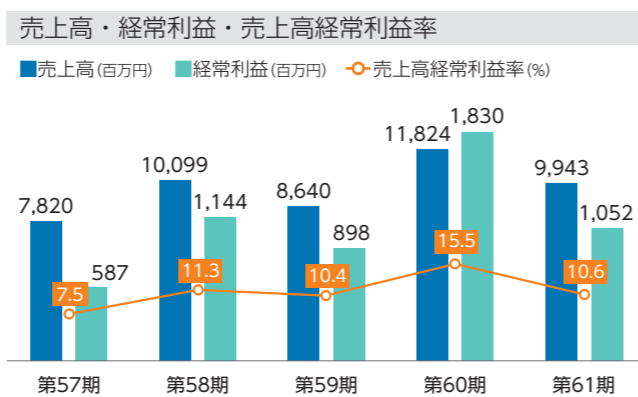
当社は、業績の伸長度に応じた安定的な経営基盤の確保及び財務体質の健全性の維持を勘案しつつ、安定した利益還元を継続的に実施していくことを基本方針としております。内部留保につきましては、経営環境の変化に対応すべく、コスト競争力を高め、生産設備ならびに技術開発体制の強化に備えるとともに、今後の事業展開に向け、有効に活用していく所存です。

2019年3月期の期末配当金につきましては、1株当たり60円の配当を実施いたしました。



## 財務ハイライト

● 財務に関する詳しい情報は <http://www.showashinku.co.jp/ir/> をご参照ください。



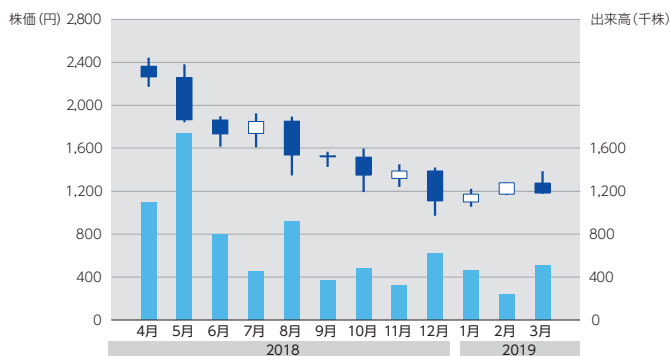
## 株式の状況

発行可能株式総数…………… 13,800,000株  
 発行済株式の総数…………… 6,499,000株  
 株主数…………… 4,648名

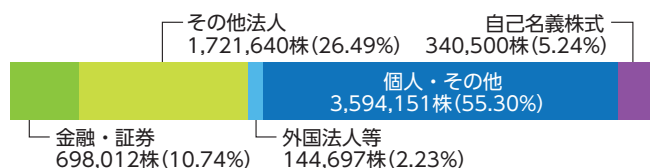
## 大株主

株主名	持株数(株)	議決権比率(%)
株式会社アルバック	1,329,500	21.58
小侯邦正	602,100	9.77
有限会社小侯興産	341,440	5.54
株式会社昭和真空	340,500	—
昭和真空従業員持株会	172,252	2.79
小侯佳子	160,000	2.59
株式会社三菱UFJ銀行	145,000	2.35
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	141,900	2.30
日本生命保険相互会社	115,200	1.87
株式会社みずほ銀行	96,000	1.55

## 株価及び売買高の推移(月次)



## 所有者別株式状況(株式数)



## 株主メモ

株主名簿管理人 〒100-8212 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号  
 三菱UFJ信託銀行株式会社  
 同事務取扱場所 〒100-8212 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号  
 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
 同 送 付 先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号  
 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
 同 連 絡 先 東京都府中市日鋼町1-1  
 電話 0120-232-711 (通話料無料)  
 事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日  
 基準日 3月31日  
 その他必要がある時は、取締役会の決議をもって予め公告いたします。  
 配当金受領株主確定日 3月31日及び中間配当金の支払を行う時は9月30日  
 公告方法 電子公告により行う。やむを得ない事由により電子公告によることができない場合は日本経済新聞に掲載する。  
 URL <http://www.showashinku.co.jp/>

## 会社概要

商 号 株式会社昭和真空  
 設 立 1958年(昭和33年)  
 資 本 金 2,177,105,200円  
 従 業 員 数 190名  
 営 業 種 目 水晶デバイス用、光学薄膜用、電子デバイス用などの総合的な真空関連装置並びに真空機器等  
 真空蒸着装置、スパッタリング装置、イオンプレーティング装置、ALD装置、ドライエッチング・アッシング装置、真空冶金(溶解、熱処理、焼結、脱ガス)装置、光学薄膜用モニター(多色式、単色式)、IAD 冷陰極イオンソース、液晶注入装置、その他  
 取引金融機関 三菱UFJ銀行、横浜銀行、みずほ銀行、三井住友銀行、きらぼし銀行、山梨中央銀行、城南信用金庫

## 事業所

●本社・相模原工場  
 〒252-0244 神奈川県相模原市中央区田名3062番地10  
 TEL. 042-764-0321/FAX. 042-764-0329

## 役員(2019年6月25日現在)

代表取締役執行役員社長	小侯 邦正	社外取締役	末代 政輔
取締役執行役員常務	市川 正	社外取締役	山本 雅子
取締役執行役員	高橋 理	常勤監査役	村木由之亮
取締役執行役員	久島 博美	社外監査役	千葉 睿一
取締役執行役員	田中 彰一	社外監査役	清水 雅人

## グループ会社及び関係会社

- グループ会社
  - 昭和真空機械(上海)有限公司
    - 所在/中国上海市
    - 主な事業内容/当社装置の生産
  - 昭和真空機械貿易(上海)有限公司
    - 所在/中国上海市
    - 主な事業内容/当社装置・部品の販売、サービス・メンテナンス
  - 株式会社エフ・イー・シー
    - 所在/埼玉県狭山市
    - 主な事業内容/マグトラン(歯のない歯車)の製造・販売
- 関係会社
  - Sansei-Showa Co., Ltd. USA
    - 所在/米国オハイオ州



昭和真空機械(上海)有限公司  
 昭和真空機械貿易(上海)有限公司



株式会社エフ・イー・シー

## IRカレンダー 第62期(2019年4月~2020年3月)

5月	第61期 決算発表	11月	第62期 第2四半期決算発表
6月	第61回 定時株主総会	2月	第62期 第3四半期決算発表
	経営報告会 有価証券報告書提出	3月	31日 第62期 決算日
8月	第62期 第1四半期決算発表		

●トップページ  
<http://www.showashinku.co.jp/>  
 ホームページでさまざまな情報をご覧いただけます。

●「株主・投資家の皆様へ」トップページ  
<http://www.showashinku.co.jp/ir/>  
 株主の皆様には有益なIR情報はこちらをご覧ください。

